

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ自立支援事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係		
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～				☒ 総重（総合計画重点事業） ☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 総新（総合計画新規事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）	
施策名	6	生涯スポーツ・レクリエーションの振興						
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 毎年度実施（開始年度 平成28 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則							
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5保健体育費	1保健体育総務費				
予算科目								
予算科目								
事業概要	総合型地域スポーツクラブは、幅広い世代の方が様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブである。 市では、平成28年に「もおかスポーツクラブ」が設立され、自立運営に向けた支援を行っている。 もおかスポーツクラブは、totoスポーツ振興くじ助成事業（H28～R2）や市の補助事業（H28～R3）を受けてクラブ運営を行ってきており、また、県スポーツクラブアドバイザー派遣事業等を利用し、運営方法の検討・協議を行い、令和3年度より自立運営に移行したが、新型コロナウイルスの影響により、自主財源での運営は、困難であったため、市の補助事業期間を1年延長している。令和4年度からは、財源も含めた自立運営に移行したが、引き続き健全なクラブ運営の継続を図るため、助言・指導等を行い支援していく。 < R5事業 > 運営委員会の開催[年12回] 定期的な教室開催[陸上競技、リズニングチーム、ダンス、ディスコダンス、弓道] 不定期開催[マラソン完走スクール] クラブイベントの開催[芳賀地区クラブフェスタ、もおかクラブフェスタ]							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
5年度実績 運営事務の指導 6年度計画 前年度と同様				名称		単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 補助金		千円	700	700	0	0	0
				イ 指導回数（会議等）		回	19	14	8	2	3
				ウ							
				エ							
				オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
市民 もおかスポーツクラブ				名称		単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 市民数		人	78,874	78,592	77,635	77,578	76,972
				イ 会員数		人	207	223	204	252	260
				ウ							
				エ							
				オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 地域住民が自主財源を主とする自主的な運営を目指す。 市民がスポーツに触れる機会を提供し、生涯スポーツの実現を図る。				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
				名称		単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 自主財源 / 運営費		%	73.4	100	100	100	100
				イ スポーツ教室実施回数		回	112	124	178	207	210
				ウ スポーツ教室延べ参加者数		人	2,265	3,276	4,129	4,644	4,700
				エ							
				オ							
② 総事業費の推移				単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	700	700	0	0	0		
	事業費計（A）			千円	700	700	0	0	0		

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 多くの市民がスポーツに参加できる機会をつくり、市民ひとり1スポーツの推進が図られる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) スポーツ振興を担う団体であり、地域コミュニケーションの場を提供している。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 市民のスポーツ振興を図る団体のため適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) 地域ぐるみでスポーツ振興を図っている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 自主運営を行っているため。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) ☐ 廃止 ☐ 見直し(☐ : 目的妥当性 ☐ : 有効性 ☐ : 効率性) ☐ 統合 ☒ 継続 幅広い世代へスポーツに触れる機会を提供している。また、自主財源での運営が出来ている。	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性 スポーツ教室の参加者数も順調に増加している。 今後は、地域密着型のスポーツクラブとして、関係団体と連携を図り、部活動の地域移行の受け皿となれるようクラブの強化・発展が期待される。																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項 部活動地域移行の受け皿と成り得るか検討すること。																						